

地域の誇りワークショップ（愛知工業大学）
～誇りと愛着を持てる地域づくり～
開催結果概要

日時	平成 18 年 11 月 13 日 15:40～16:50
会場	中部地方整備局主催学生向け現場見学会内（車中）
ファシリテータ	内田 克哉（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究員） 小森 清志（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング研究員）
発言者	愛知工業大学現場見学会参加学生（29 名）
オブザーバー	平井 親一（国土交通省中部地方整備局企画部企画課事業調整係長） 野村 真司（国土交通省中部地方整備局企画部企画課事業調整係技官）



議論のポイント

どのようなことに地域の誇りを抱いているか

- ・「愛・地球博」の開催、中部国際空港の開港による国際的な地域
- ・自動車産業、窯業などものづくり産業の拠点
- ・国内随一の輸出額を誇る名古屋港
- ・公共交通機関や道路網、商業施設や公共施設の利便性の高さ
- ・河川や緑地など豊かな自然
- ・環境や防災などの意識が高い地域
- ・豊富な歴史的な建築物や名所
- ・独特の食文化、地域固有の文化や豊富な特産品

今後、地域に対する誇りを育むために

- ・安全で住み良い地域にするために防災対策の推進
- ・地域の文化や歴史を積極的に情報発信
- ・世代を越えて交流できる機会の創出と住民同士のつながりの醸成
- ・ずっと住み続けている地域への恩返しも込めた社会貢献
- ・地域活動を通じて、人と人とのつながりの密接化・コミュニティの形成
- ・地域を大切にする心の醸成
- ・過疎化、高齢化の進む出身地へ帰って発展へ貢献したい
- ・現在住んでいる地域にとらわれず、他地域との関わりも持ちたい
- ・ずっと住み続けられる安定した職場の確保

地域づくりに求められる社会資本整備の視点

- ・公共交通機関や道路網のさらなる利便性の向上
- ・ものづくり産業、地域固有の産業のさらなる発展
- ・観光地（娯楽地）、観光案内所、サービスの充実
- ・河川や緑地などの景観整備
- ・中心市街地の活性化
- ・子供も安心して遊べる公園等の整備
- ・高齢化社会を見据えた福祉サービスの充実

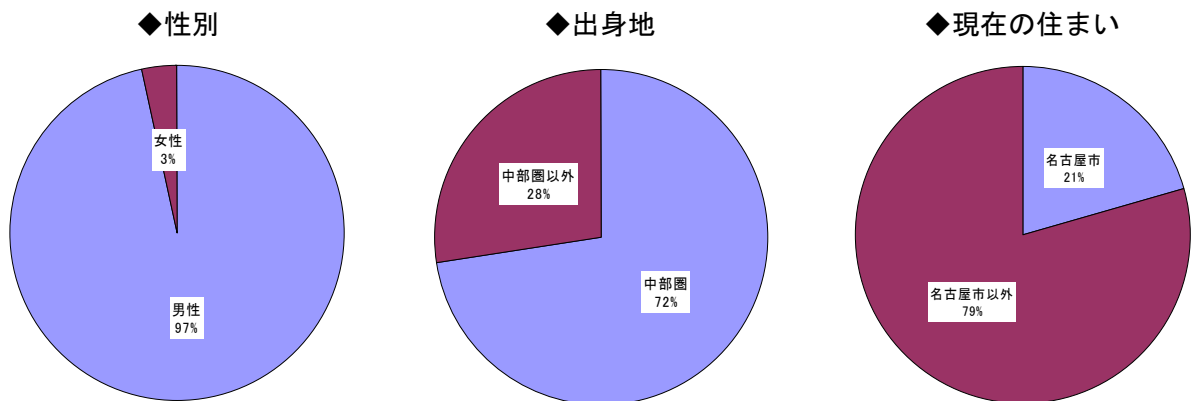
ワークショップで得られた意見

Q 1. あなたは、現在お住まいの地域に魅力を感じ、他地域の方に自慢したいことはありますか？	
○ : 10 人	・ 「愛・地球博」の開催、中部国際空港の開港によって、国際的な地域として認知されていると思う。 ・ 「愛・地球博」が開催され、国内外問わず名古屋への観光客が増加し、食文化など名古屋文化に触れられる機会が増えた。 ・ 自動車産業を始めとしたものづくり産業が集積、発達した地域である。 ・ 環境や防災など自然環境を守る意識が高く、積極的な取り組みが行われている。
× : 19 人	・ 特に名古屋ということで考えると魅力を感じるが、現在住んでいる地域においてはあまり自慢になる所がない。 ・ 歴史的な場所や施設はあるものの、他地域の方にはなかなか知られていない。 ・ 愛知県に住んで日が浅いため、まだ自慢できると思うまでに至っていない。また、出身地と比較すると出身地の方が住みやすいと思う。この地域のことについては、これから学んでいきたいと思う。
Q 2. あなたは、現在お住まいの地域にこれからもずっと住みたいと思いますか？	
○ : 11 人	・ 日々の生活において、公共交通機関や自動車交通などで不便な点がないため、これからも住みたい。 ・ この地域は、これからも鉄道網や道路網などが発展し、住みやすくなると思う。 ・ 生まれ育った場所であり、ずっと住んでいるため愛着がある。また、就職先がたくさんあることも住みたい理由のひとつ。 ・ 治安が悪いというイメージがなく、安心して暮らせると思う。また、公共交通機関の利便性が高く、自転車で移動できる範囲に利便施設が集積しているため暮らしやすい。
× : 18 人	・ 現在住んでいるところと出身地を比較すると、出身地の方が住みやすい。就職後は出身地に帰る予定。 ・ 出身地と比較して、名古屋は人混みが多い。また、出身地での就職を考えている。
Q 3. あなたは、現在お住まいの地域で働きたい（就職したい）と思いますか？	
○ : 6 人	・ 当地域はものづくり産業を中心に、今後も発展していくと思う。それを支えていけるような仕事をしたい。 ・ ずっとこの地域に住んでいるため、地域の良いところも改善すべきところも分かる。地域に恩返しをするという意味で、仕事を通じて貢献したいと考えている。 ・ 就職先が近くにたくさんあるため。また、公共交通機関の利便性も高いため、通勤しやすい環境である。
× : 13 人	・ 出身地は過疎化が進行し、特に若い世代が他地域へ移っていつてしまっている。そのため、就職は出身地を考えており、少しでも発展に貢献したい。 ・ 大学で学んだことを出身地で活かし、仕事を通じて地域の発展に貢献したい。 ・ 出身地の方がこの地域より住みやすいため、出身地での就職を考えている。

Q 4. あなたは、ボランティア活動などへの参加を通じて地域に貢献したいと思いますか？	
○：10人	・ 河川や道路の清掃活動など、地域をきれいに保つ活動をしたい。 ・ 地域での活動を通して、地域の人々とコミュニケーションを図りたい。人と人とのつながりを密にしていきたい。 ・ 地域の一体感、密着感がないと思う。祭りやイベントなど機会があれば積極的に参加し、地域を盛り上げたい。 ・ ボランティア活動に参加したことはないが、地域に長く住んでいるため、地域に役立つ活動に今後参加していきたい。その機会を知り得る情報発信を積極的にして欲しい。
×：19人	・ 現在住んでいる地域の活動に参加したいとは思わないが、出身地であればどのようなボランティア活動が行われているかも知っており、人と人とのつながりもあるため参加したい。 ・ ボランティア活動などに参加したことはなく、また、この地域でどのような活動が行われているか分からない。地域をきれいに保つために清掃活動は必要だが、そのためにはマナーの醸成が必要だと思う。 ・ ボランティア活動については良いイメージがあるが、どのような活動がおこなわれているか具体的には分からない。この地域に長く住み、愛着が湧き、地域を美しくしたいという思いが強くなれば参加したい。
Q 5. この地域に住む人は、地域に対する誇りや愛着を持っていると思いますか？	
○：9人	・ 自然が豊富にあるところに愛着を持っている。 ・ この地域に生まれ、この地域で生活を営み、就職をしている人が多い。 ・ 地域で祭りや行事があると、周り人々が積極的に参加している。 ・ 住民が地域について様々なことを考え、地域を大切にしていると思う。特に防災について意識が高い地域だと思う。海も山もある地域なので、地域の環境を守るという点で地域への誇りは高いと思う。 ・ 住み心地の良い地域だと思う。また、長く住んでいる人が多いためコミュニティが形成されている。今後は、若い人がもっと地域について考え、様々な世代の人たちとコミュニケーションを図っていく必要があると思う。それが地域の誇りを萌芽するきっかけになるのではないかな。
×：20人	・ ボランティア活動など行われているが、参加人数が少ないため、愛着をもっているとは思えない。様々な世代の人が参加するきっかけができればと思う。 ・ 職場を求めて居住している人も多いと思う。そのような中ではなかなか地域について考えることもなく、愛着を持つまでには至らないと思う。地域について考えるきっかけとなるよう情報発信を積極的にすべきだと思う。 ・ 今後は、外国人との交流を図るための機会も必要だと思う。 ・ 近所づきあいが希薄で、コミュニケーションが図られていないと思う。地震や火災など有時の際の助け合いができないと思う。 ・ 若い世代が都市部で進学や就職をしている。生まれ育った地域から離れてしまっただけでは、愛着は湧かないと思う。職場の確保、交通機関の利便性を保つことが重要だと思う。

事前アンケート集計結果（n=29）

1. 回答者属性



2. 主な回答結果

Q 1. あなたは、地域らしさや地域の紹介を他地域の方にするとき、あなたは何を“ウリ”にしますか？具体的にお書きください。（Ex. 有名なところ、特産品、食文化、方言 etc）

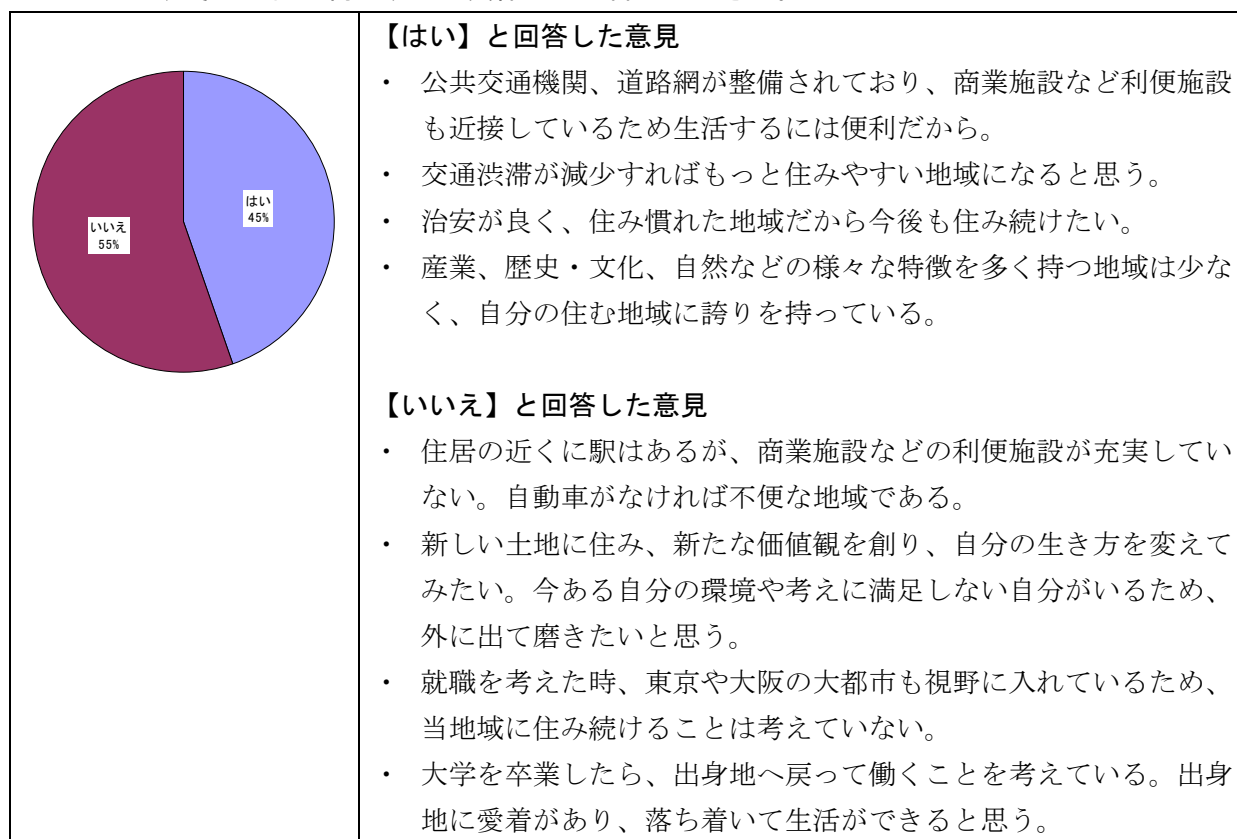
- ・ 自動車産業や窯業などのものづくり産業の拠点であること。
- ・ 国内随一の輸出額を誇る名古屋港。
- ・ 公共交通機関、道路の利便性が高く、商業施設が近接しているため生活しやすい環境である。
- ・ 名古屋は大都市でありながら、東京や大阪と比較して人口が密集しておらず、住みやすい地域である。
- ・ 河川や緑地が豊富で住みやすい環境である。
- ・ 「愛・地球博」が開催され、国内外問わず観光客が増加した。
- ・ 歴史的な建築物や名所が点在している。
- ・ 地域のイベントや行事に様々な世代が積極的に参加している。
- ・ ひつまぶしやみそ煮込みうどんなど名古屋独特の食文化や各地域で特徴のある特産品。

Q 2. Q 1について、何が充実すれば、もっと地域の自慢として他地域の方に紹介できますか？具体的にお書きください。

- ・ さらに住みやすい環境とするために、道路網、公共交通機関、情報網の整備が必要だと思う。公共交通機関の低料金化を図ることで生活の利便性が向上すると思う。
- ・ 地域固有の産業について積極的に情報発信していく。
- ・ 観光地としての認識が低いため、観光施設やサービスを充実させる。
- ・ 中心市街地の商店街は、郊外への大型ショッピングセンターの出店により衰退しているため、活性化を図るべきである。
- ・ 河川、緑地などの豊富な自然を守り、維持していく。
- ・ 子供も安心して遊べるような公園等の整備をすすめる。
- ・ 地域の文化や歴史、行事を積極的に情報発信していく。
- ・ 「愛・地球博」が開催されたことを機に、国際都市として当地域を発展させる。
- ・ 高齢化社会を見据え、福祉サービスを充実させる。
- ・ 安定した雇用の場を確保する。

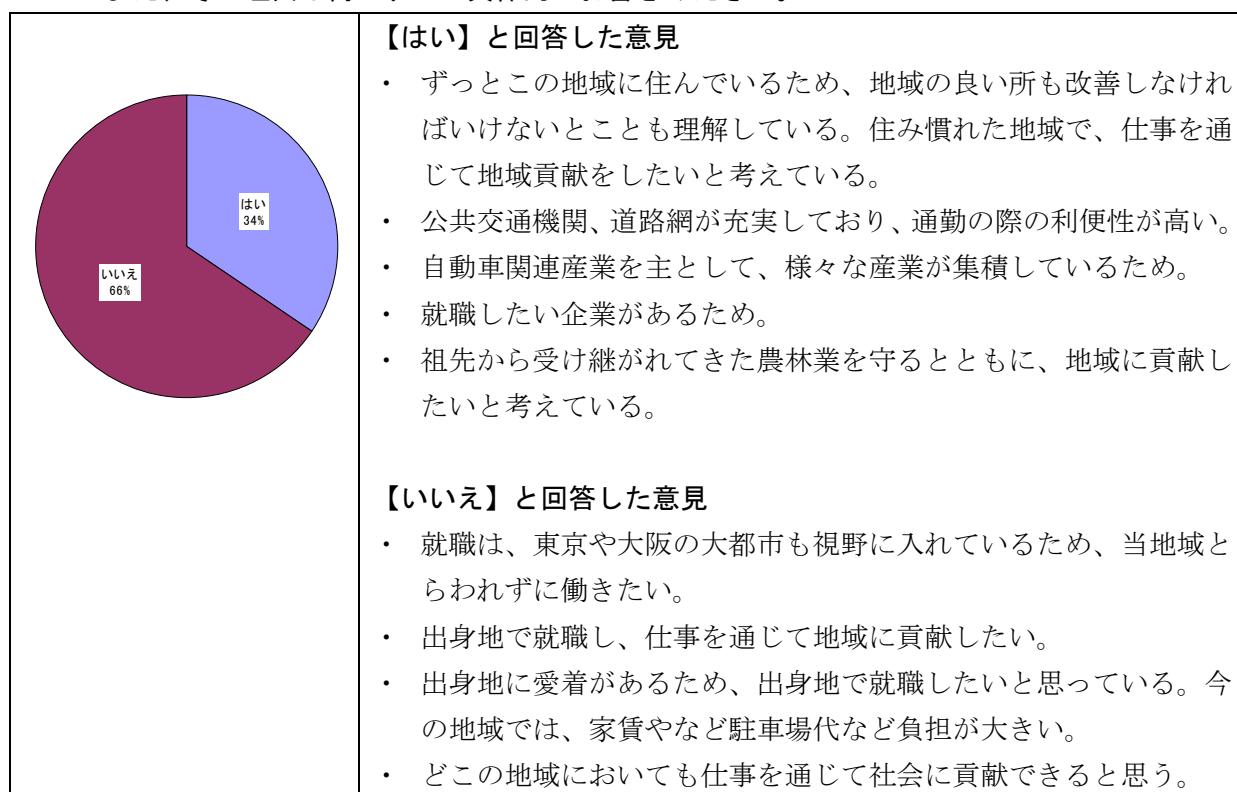
Q 3. あなたは、現在お住まいの地域に今後もずっと住み続けたいと思いますか？

また、その理由は何ですか？具体的にお書きください。



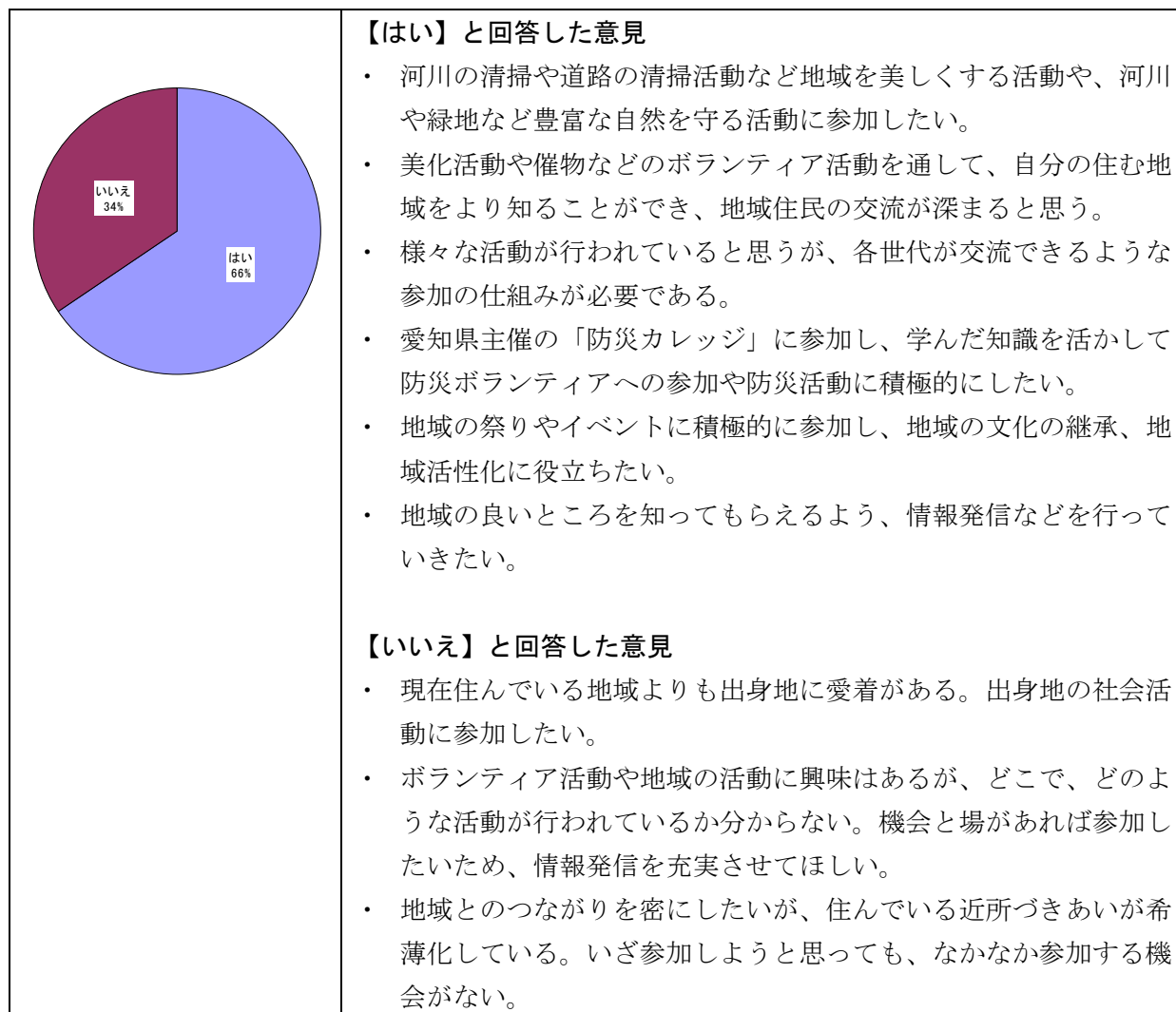
Q 4. あなたは、現在お住まいの地域で働きたい（就職したい）と思いますか？

また、その理由は何ですか？具体的にお書きください。



Q 5. あなたは、ボランティアな活動などへの参加を通じて現在お住まいの地域に貢献したいと思いますか？

また、どのような活動の中で地域に貢献したいと考えますか？具体的にお書きください。



Q 6. 今後、どうすれば地域の人々が今以上に地域に対する誇りや愛着を持てるようになると思いますか？

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川や緑地など豊かな自然を守っていく必要がある。 ・ まちなかの商店街の活性化を図る。 ・ 地域独自の産業や文化を積極的に情報発信していく。 ・ 地震災害における防災対策を推進し、安全で住み良い地域にする。市街地と中山間地が連携を図り、合同防災訓練などを行っていく。 ・ 地域の子供達が安心して遊べるような公園を整備する。 ・ 地域の様々な行事やイベントに参加し、地域住民同士のつながりを醸成していく。 ・ 若い世代の地域に対する誇りを醸成するために、小中学校から地域について考える機会と場の創出が必要である。また、世代を越えて交流できる機会や場を創出していく。 |
|---|